



かめだ図書館だより

新潟市立亀田図書館（江南区文化会館内）第 54 号 令和 8 年 9 月発行

亀田図書館キャラクター
ウメちゃん

電子図書館を使ってみよう！

「にいがた市電子図書館」をご存じですか？
通常の本のほかに電子書籍が 3 点借りられます！
返却日になると自動返却。返し忘れがありません！
280 種類以上の電子雑誌も読める閲覧サービスもあります！
天候の悪い時でもご自宅で本が借りられます！



【利用できる人】新潟市に在住・在勤・在学の方（団体は利用出来ません）

【利用方法】電子書籍の貸出・電子雑誌の閲覧には新潟市立図書館の
貸出カードとMYライブラリのパスワードが必要です。

【貸出点数と期間】貸出点数：3 点まで

貸出期間：2 週間（予約が無い時のみ、2 週間延長可能）

ミステリーツアーを開催しました！



8月21日（金）、江南区文化会館主催
のミステリーツアーが開催されまし
た。

江南区の小学生 52 名が参加してく
れました。

いつもと違う、暗～い図書館や郷土資
料館、ホールをまわってお札を集めて
もらいました。

館内には生首や仏壇、お棺などがあっ
て、雰囲気たっぴり。夏休みのいい思
い出が出来たと思います。





俳句の窓

江南区は昔から俳句が盛んな土地柄です。

地域の俳人・小嶋紅円^{こうえん}さんから、
江南区にゆかりのある俳人の句を紹介していただきます。

秋の陽を背なに集めて車椅子

三浦かずこ

百寿を超えて、頑張って元気に俳句会に参会しておられる作者の作品。デイサービスに行かれた時の一句と思われる。車椅子に乗られ、秋の陽光を背中に浴びている様子がうかがえる。何気ない、どこにもある日常の景を詠まれた。

一陣の豪雨祭りの余韻消し

塚本純一

亀田諏訪神社近くにお住いの作者、年に一度のお祭りは、さぞ賑やかであろう。最近見られるゲリラ豪雨などが突然あると、お祭りの雰囲気が一気に消えてしまう様子を一句にまとめられた。素直に詠まれているだけに現実味がある。

小嶋紅円さん……本名、小嶋健一。江南区下早通生まれ。田村山火^{さんか}・紅子^{べいこ}夫妻に俳句を教わる。
著書に『世継楯^{よつぎほだ}』、『続世継楯』(俳句・俳文集)。

展示コーナーのようす

展示中の本も
貸出できます！



一般展示「不思議あれこれ」

不思議で奇妙な本をあつめました。
ちょっと違う世界をのぞいてみませんか？



児童展示「〇〇の秋」

芸術の秋、運動の秋、食欲の秋、、、
みなさんはどんな秋にしますか？



『かめた図書館だより』第54号 令和8年9月発行(年4回発行)

編集・発行：新潟市立亀田図書館 新潟市江南区茅野山 3-1-14 (新潟市江南区文化会館内)

電話：025-382-4696

ホームページ：https://www.niigatacitylib.jp

FAX：025-381-8003

メールアドレス：kameda.cl@city.niigata.lg.jp

新潟市立図書館公式 X (@niigatalib)：https://x.com/niigatalib

